

どう見るか

「今」を

生きていたら

いわさきちひろが

水上勉と

2014年7月25日[金]

18:00開場 18:30-20:00

松本市あがたの森文化会館 2-8

〒390-0812 松本市県 3-1-1 tel: 0263-32-1812

参加費: 信州自遊塾会員・無料 一般・500円(資料代)

定員100人(講座)・定員20人(交流会)

主催: 信州自遊塾 共催: エディターズ・ミュージアム「小宮山量平の編集室」

トークイベント

# 窪島誠一郎 vs 松本猛

窪島誠一郎の父、水上勉は1919年3月生まれ。松本猛の母、いわさきちひろは1918年12月生まれ。2人は同学年でした。一人は作家、一人は絵本画家、作風も性格もまったく違いますが、戦争が彼らの作品を生み出す大きな原動力になったことは間違いのないでしょう。

実は、この2人には接点が多いのです。ともに福井県に生まれ、戦争開始の直前の満州滞在中、敗戦前、東京の中野で空襲にあった時も、戦後、神田の町に住んでいたことも共通しています。ひょっとするとどこかですれ違っていたかもしれません。

窪島誠一郎は信濃デッサン館と無言館を作り、松本猛はちひろ美術館・東京と安曇野ちひろ美術館を作りました。コレクション作品はまったく性格を異にしますが、どちらの館も戦争と平和の問題から目をそらさず、メッセージを発信している点は共通しています。

水上勉といわさきちひろが十代だった1930年代は、まだ、ほとんどの人が戦争など起こるはずがないと思っていました。その時代と、豊かさを謳歌しつつも、特定秘密保護法が通り、集団的自衛権を容認しようという動きが強まっている現在は、社会情勢が似ていると指摘する人が少なくありません。

今回のトークイベントは水上勉といわさきちひろを通して時代を考えようという試みです。ナビゲーターは、小宮山量平さんの次男、小宮山民人さんが務めます。

講座終了後、交流会を予定しています。会場は松本市時計博物館1階の「トラットリア松本画廊」(tel:0263-33-6321)で、20:30から。

料理+飲み放題 4000円(ノンアルコールは3000円)

～これからの人間の生き方を考えよう～

信州自遊塾

<http://www.jiyujuku.org/>

お申込は裏面をご覧ください

水上勉と  
ちひろ美術館  
生きていたら  
「今」を  
どう見るか

# トークイベント 窪島誠一郎 vs 松本猛

## 申し込み

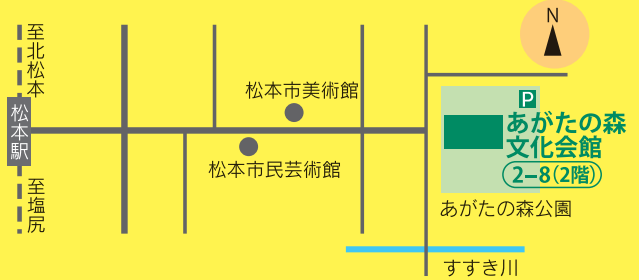
講座、交流会ともに席に限りがあります。お早めに、  
信州自遊塾 HP <http://www.jiyujuku.org/>

「講座申し込みフォーム」または

FAX 0263-77-5437 まで、

- 会員の方は氏名を、
- 一般の方は住所、氏名、電話番号をご記入の上、  
申し込みください。
- 交流会参加の有無も添えてください。
- お電話での申し込み・問い合わせは  
tel:090-5808-0768 (事務局・峯岸)まで

## 松本市あがたの森へのアクセス



JR 松本駅より徒歩20分。松本周遊バス東コース「旧松本高校」下車  
※駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関でお越しください。



窪島誠一郎 (くぼしま・せいいちろう)

1941年生まれ。1979年、上田市に夭折画家のデッサンを展示する私設美術館「信濃デッサン館」、97年に戦没画学生慰霊美術館「無言館」を設立。著書に実父水上勉との再会を綴った『父への手紙』(筑摩書房)、『無言館ものがたり』(講談社)、『父 水上勉』、『母ふたり』(白水社)など。第46回産経児童出版文化賞、第7回信毎賞、第13回NHK地域放送文化賞ほか、2005年「無言館」の活動で第53回菊池寛賞受賞。



松本猛 (まつもと・たけし)

1951年生まれ。美術・絵本評論家、作家、絵本学会会長、ちひろ美術館常任顧問。1977年にちひろ美術館・東京、97年に安曇野ちひろ美術館を設立。同館館長、長野県信濃美術館・東山魁夷館館長を歴任。著書『安曇野ちひろ美術館をつくったわけ』(新日本出版社)、『東山魁夷と旅するドイツ・オーストリア』(日経新聞出版社)、『母ちひろのめぐもり』、絵本に『白い馬』、『りんご畑の12か月』(いずれも講談社)など。



小宮山民人 (こみやま・たみひと)

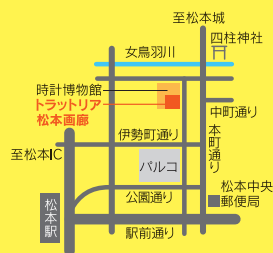
1964年小宮山量平の次男として上田市に生まれる。県立上田高校、上智大学文学部社会学科を経て、1988年(株)理論社入社。絵本、児童読み物、学校図書館向けシリーズなどの編集に携わる。2014年理論社退社。エディタース・ミュージアム内、子どもの本の編集室「きりんの本棚」をスタート。

## 交流会会場



### トラットリア松本画廊

松本市中央 1-21-15  
松本市時計博物館1階  
tel:0263-33-6321



## 信州自遊塾とは

だれもが参加できる 3.11 以降の生き方を学び考える場です。信州を愛する人々の中には、それぞれの分野ですばらしい活動を行い、ものを考え、作り出している人がたくさんいます。「信州自遊塾」はこうした人々のネットワークをつくり、講座・エクスカーション(小旅行講座)などで新しい時代の人間の幸せを、まじめに楽しく、考え、学ぶ場です。

活動はホームページでお知らせしています。ぜひチェックを!

信州自遊塾で検索

~これからの人間の生き方を考えよう~

# 信州自遊塾

<http://www.jiyujuku.org/>